

在宅医療・介護多職種連携協議会

啓発・広報部会

～報告～

部会の目的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙「わがや」の発行
- その他，在宅医療に関する啓発関係の検討

**目指す姿：ひとりでも多くの市民が人生の最終段階の暮らし方について
近しい人と日頃から繰り返し話し合っている状態**

部会内容

第1回部会

参集形式
(令和7年6月4日)

- 報告 在宅医療情報紙「わがや」について
在宅医療出前講座について
在宅医療意識調査について
- 議事 「わがや」の認知度を向上させる方法について
啓発イベント「ピア上映会」に関する検討（グループワーク）

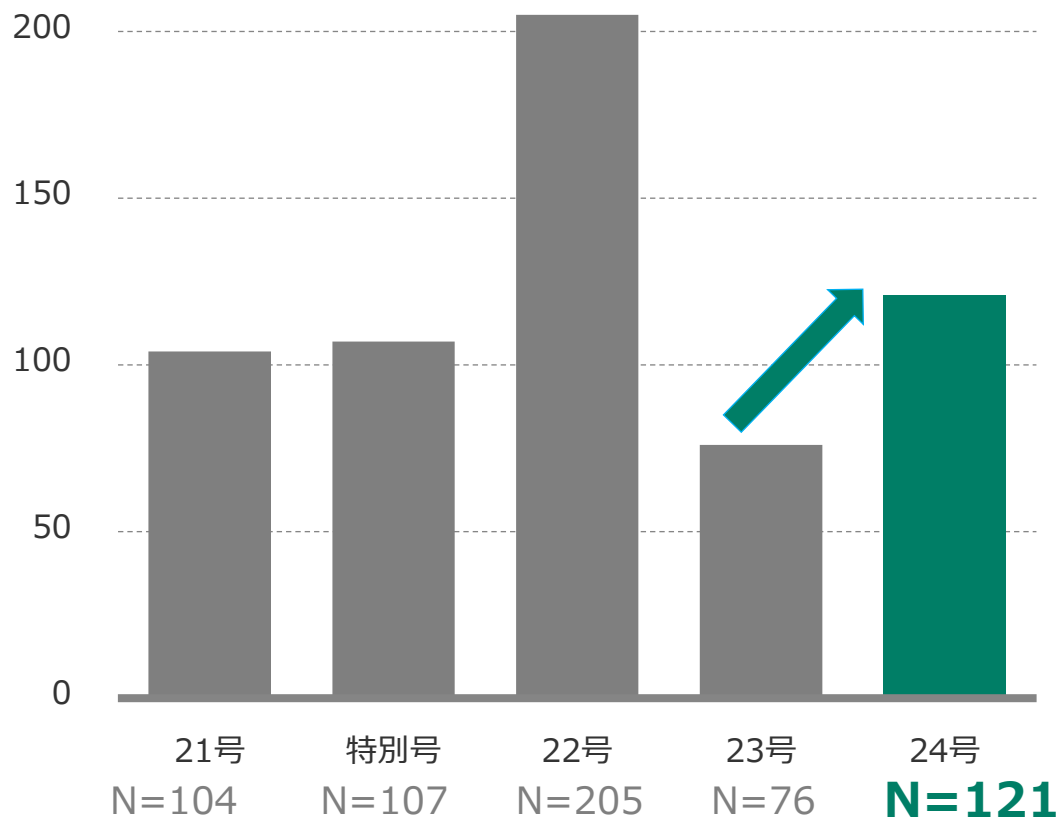
報告（1） | 在宅医療情報紙「わがや」

● 「わがや」24号（R7.3.1発行）

テーマ「介護の体験談」



クイズアンケートへの応募者数は前号から**45件増加**した。引き続き、多くの方に興味を持ってもらえる紙面づくりに取り組んでいく。



23号からアンケートを追加した影響で回答数減

● 「わがや」25号（R7.9.1発行予定）

認知症を特集し、「認知症になっても安心して暮らせる地域」が読者に伝わるよう作成中

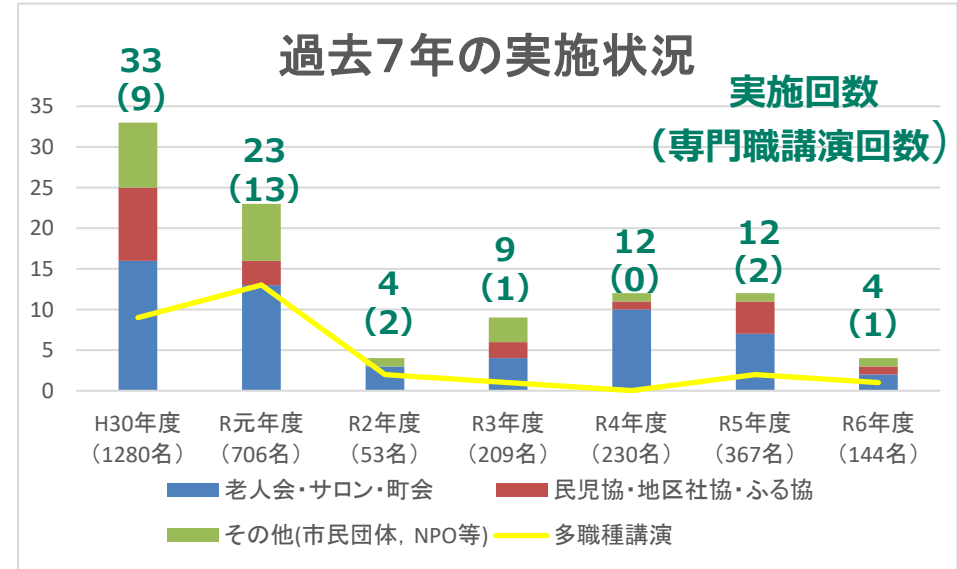
報告（2） | 在宅医療出前講座

◆ 在宅医療出前講座（R6年度申込・実施状況）

対象	申込件数	実施回数 (専門職講演回数)	参加人数 * 延数
老人会・サロン・町会など	2	2 (0)	55
民児協・地区社協・ふる協	1	1 (1)	77
その他（市民団体, NPO等）	1	1 (0)	12
合計	4	4 (1)	144

◎ 参考

市以外（包括支援センター）が実施した講座
21回 389名
エンディングノートの講座（終活セミナー含む）



前年度より **8件減少**
(特に包括経由でのサロンからの依頼が減)

サロン等への
効果的な周知と
内容の見直しをしていく



※周知用チラシ

報告（3） | 在宅医療意識調査

啓発活動全体の評価をし、令和8年度以降の啓発活動を検討するために実施

	調査の方針
対象	1,000人程度を無作為抽出（60-80歳）
方法	郵送
時期	令和7年7月頃／3年に1度
調査項目	・ 在宅医療の認知度 ・ ACPに関する考えや実践状況 ・ わがやの認知度 ・ 医療や介護の情報をどこで知れたらよいか 等

項目	2025年									2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会		第1回				第2回				第3回		
意識調査	準備			実施		調査結果の分析						

調査結果の報告

分析結果を基に、
次年度の取り組みを検討

議事（1-1） | 「わがや」周知に関する取り組みについて

配布先については**年々拡大**
（医療機関，関係施設，公共施設，小中学校，市内14万部ポスティング…など）

しかし，わがやクイズ応募者などから定期的に読んでもらえる層がいる一方，
「わがや」の認知度の低さが大きな課題



そこで，事務局（行政）として，周知方法を含めた**認知度向上のための取り組み**について
以下のとおり検討，実施していくこととした

○取り組み概要（予定）

取組名	概要
広報かしわとの連携	広報かしわにおける連携可能性について担当課と協議
市民へのヒアリング	実際の声を集め課題を明確化するとともに，改善策を検討
市ホームページとの連携	市ホームページとの連携可能性について協議
デジタルサイネージとの連携	デジタルサイネージ（柏駅等）との連携可能性について協議
配架機会の増加	検診会場等への配架など連携可能性について協議

議事（1-2） | 「わがや」の認知度を向上させる方法について

さらに、部会の中でも

「わがや」の認知度を向上させる方法について

以下のとおりご意見いただきました

- ・ 地域包括支援センターと連携し、窓口で手渡しをしてもらう
- ・ デジタル化を推進する（スマホ用の紙面を作成する，SNSで拡散する など）
- ・ サイズアップ，材質変更等により，差別化を図り，気づいてもらえる工夫をする
- ・ イラストのテイストを毎回変えるなどデザインの工夫をし，手に取ってもらうきっかけを作る
- ・ 待ち時間を活用出来るような場所に配架する
- ・ 町会の掲示板や回覧板を活用する
- ・ 配布物が実際に手に取られているかの調査をする（回収率の調査）

上記の意見を参考に，様々な視点から「わがや」の周知方法を見直し，認知度向上に取り組んでまいります。



議事（2） | 啓発イベント「ピア上映会」に関する具体検討

市民に**直接アプローチ**する**新たな機会**として上映会を実施

○当日の流れ

- 1.開会
- 2.挨拶（石橋部会長）
- 3.上映（1時間40分）
- 4.医師による在宅医療の説明（5分）
- 5.トークセッション※（15～20分）
- 6.閉会（櫻庭副部会長）

○セッションの内容

（冒頭）**医師による在宅医療の説明**

（メインテーマ）

- ①**専門職による実体験を交えた講話**
- ②**医師と専門職によるチーム（ピア）の関係**
- ③**応募時のアンケートで要望のあったテーマ**



グループワークでは

ピア上映会の成果を効果的に活かす方法について以下のとおり検討

- ・ 在宅医療関連グッズを配布し，“在宅医療サポーター”になってもらう
- ・ ミニ上映会を定期的を開催する
- ・ フォトスポットを作り，SNS等で発信してもらう
- ・ 答えやすい項目を中心とした体験版エンディングノートを配布する
- ・ 個別相談ブースを設ける
- ・ 感想ボードを設け，後日センターに掲示する

今後の予定

令和7年度の予定

項目	2025年										2026年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
部会		第1回				第2回				第3回				
わがや	25号（テーマ：認知症）作成					発行		26号（テーマ：未定）作成					発行	
ピア上映会	準備										実施			
意識調査	準備			実施		調査結果の分析								
出前講座	依頼に応じて随時実施													

○開催概要

- 日時：令和8年1月25日（日）14時～16時
- 場所：アミュゼ柏 クリスタルホール（200名程度を想定）